

まず行動する

→ 共に考え行動する

→ 力をまとめる

→ **確かめ合う**

1 【 日常の授業に生きる研修内容の立案と確認 】

先生方に研修を通して、
日常の授業の中でも力
をつけてほしい。

職員同士で見合う参観授
業を多く取り入れている。
また、参観授業計画を年間
行事計画の中に取り入れ、
必ず実施できるようにして
いる。

先生方に年間を通し
て、研修を意識して
もらいたい。

年間を通して、一人一課題
で、授業改善に取り組んで
もらっている。参観授業等も実
施し、報告書を作成してもら
い、全職員に紹介している。

保護者や地域の方に
も研修に関する意見
をもらいたい。

校内研修の内容を便り
や掲示物等で保護者や地
域の方に伝え、研修に関す
る助言をもらうようしてい
る。また、授業や授業検
討会にも参加してもらい、
評価してもらうようしてい
る。

研修内容が日常の授業の中に生きるように、立案したり認め合ったりしている。

2 【 内部・外部評価を取り入れた研修体制づくり 】

切磋琢磨できる
教師集団であり
たい。

職員同士で見合う授業を多
く計画し、小グループ内(学年
や部会等)で気軽に意見交流
しながら改善を行える体制を
つくっている。

校長先生や教頭先生か
らできるだけ多くの助言
をいただきたい。

できるだけ多く管理職に授
業を参観してもらい、校内研
修を絡めた検討・助言をいた
だけの体制をつくっている。

学校評価を最大限
に生かし、実践した
い。

児童・生徒や保護者、地域
の方からの学校評価を生か
し、改善するための具体的
な方策を明示してもらい、実
践できるよう計画している。

内部や外部から評価をしてもらい、具体的な方策をもって、改善できるように計画している。